

大会申し合わせ事項

1. 競技規則について

この大会は「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020 v. 2」並びに大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 用具検査について

競技用具、ボール等の規定は、「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020 v. 2」に準ずる。
※用具検査は特に実施しない。

3. 招集について

(1) コールルームは競技開始 30 分前に開場し、15 分前に閉鎖する。選手はコールルームが開場しているうちに受付を完了すること。

※コールルーム入り口に公式時計を 1 個 設置しますので、各自ご確認ください。

(2) コールルームには、選手本人およびアクレカード（名札）を受け取ったスポーツアシスタント以外は入ることができない。コーチが入室を希望する場合は、必ずコールルーム受付時同行し、入室証を受け取ること。

○選手以外にコールルームに入ることができる者

BC 1 コーチ 1 名、スポーツアシスタント 1 名

BC 2 コーチ 1 名

BC 3 コーチ 1 名、スポーツアシスタント 1 名

BC 4 コーチ 1 名、（足蹴り選手であればスポーツアシスタント 1 名）

OP 座位 コーチ 1 名

○コールルームに持ち込める物

i) 赤ボール 6 個、青ボール 6 個、ジャックボール 1 個

ii) アシスティブデバイス（補助具）：BC 3 の選手のみ

iii) 競技に必要な物品

※ボールやランプをコールルームに持ち込まなかった選手は、大会運営側で用意した道具を使用してください。

4. ナンバーカードおよびアクレカード（名札）について

(1) ナンバーカードは、選手は胸か脚（前面）に取り付け、スポーツアシスタントは背中に取り付けること。

(2) ナンバーカードおよびアクレカードは、コールルームに入る場面や審判に確認を求められた時には提示すること。なお、ナンバーカードおよびアクレカードがない選手はコールルーム受付ができないので注意すること。

5. 競技進行について

競技時間は原則公表した競技進行によって運営されるが、試合の延長などにより遅延することもある。その場合は掲示板に時間の変更を連絡するので、選手および関係者はよく確認すること。遅延の連絡は1階事務所横の掲示板に貼り出す。なお、通告のあった内容の未確認によって発生した不手際は、すべて選手の責任となり、いかなる抗議も主催者は受け付けない。

※選手によっては試合と試合の間隔が大幅に空く場合や連続する場合もあるので、掲示板をよく確認してください。

6. 競技方法

- (1) すべて男女混成の個人戦で、「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020 v. 2」が提示する障害区分 BC1、BC2、BC3、BC4、OP 座位の 5 クラスにて実施する。
- (2) 各クラスとも予選リーグを行い、上位 4 名による決勝トーナメントを実施する。
予選リーグの順位は BISFed 競技マニュアルに則り、①勝ち数、②直接対決、③得失点差、④総得点、⑤総勝ちエンド数で判断する。
- (3) スポーツアシスタントは BC1、BC3 クラスおよび BC4 の足蹴り選手にのみ認めるものとする。それ以外の選手については、コールルームおよび競技中にスポーツアシスタントを使用することはできない。
- (4) 申込書に記入されたスポーツアシスタントを変更する場合は、大会受付を通じて主催者に申請すること。
- (5) 残り時間のコールおよびエンド間の時間計測については公用語（英語）で行われる。

7. 表彰について

- (1) 各クラス上位 3 名までにメダルを授与する。
- (2) BC3 クラスのスポーツアシスタントについてもメダルを授与する。

8. クラス分けについて

- (1) 競技中、クラス分け委員による競技観察を行う。
- (2) 明らかにクラスの違う選手は、審判長とクラス分け委員が協議の上オープン出場とする。
※他の選手のクラス確認に対する抗議は認めません。